

登録コード	J5210200	開講年度	2026			
授業科目	マーケティング・データ分析				担当教員	石橋 敬介
英文授業名	Marketing Data Analysis				副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・3時限	対象学年
講義室	経法第3講義室		授業区分	講義	遠隔授業科目	(20カリ対象科目)経：2年/法2年
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】	
	経法20加					
	経済学または法学が積み上げてきた知識と思考に基づく判断を基礎力として身につけ、それを発揮できる力を身につける。				マーケティング分野における調査とデータ分析の手法を学ぶことにより、知識と思考に基づく判断を基礎力として身につけ、それを発揮できる力を身につける。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	効果的なマーケティング活動を行うためには、市場と消費者について適切な調査を行い、データを分析する能力が求められる。本講義はマーケティングのための調査とデータ分析をテーマとし、前半で調査について講義し、後半はMicrosoft Excelによるデータ分析の講義と演習を行う。 担当教員は10年以上にわたり企業のマーケティング支援をしてきた実務経験があり、その際の事例を適宜紹介しながら講義を行う。					
(5)授業計画	第1回 ガイダンス 第2回 Excel操作（1）：基礎編 第3回 調査（1）：現代のリサーチ環境 第4回 調査（2）：調査とデータ取得の方法 第5回 調査（3）：調査票の作成 第6回 調査（4）：調査対象とサンプルサイズの設計 第7回 中間テストと解説 第8回 Excel操作（2）：中級編 第9回 分析（1）：製品と品ぞろえの分析 第10回 分析（2）：売場の分析 第11回 分析（3）：価格設定の分析 第12回 分析（4）：特売の分析 第13回 分析（5）：プロモーションの分析 第14回 分析（6）：商圏の分析 第15回 まとめと授業アンケート					
(6)成績評価の方法	中間テスト（50％）と期末テスト（50％）により行う。					
(7)成績評価の基準	基本的な用語や手法を理解していれば「水準にある」、間違いのない調査とデータ分析ができれば「やや上にある」、分析結果を深く考察できていれば「かなり上にある」、分析結果をマーケティングの理論と関連付けて施策の立案ができれば「卓越している」					
(8)事前事後学習の内容	毎回、講義資料や学習用データを eALPS にアップするので、それをもとに予習復習を行うこと。また、授業中に提示する課題に取り組むこと。					
(9)履修上の注意	多くの回でMicrosoft Excelを用いた演習を行うため、ノートPCの持参は必須である。 また、単にデータ分析の方法を知るだけでなく、実際のマーケティング施策につなげることが重要であるため、「マーケティング」を履修済みであることが望ましい。					
(10)質問,相談への対応	メールにて受け付ける。メールアドレスは初回の授業で公開する。					
【教科書】	指定しない。					
【参考書】	石橋敬介『Excelによるマーケティング効果検証入門』オーム社					